

## ◆ 平成 29 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO 法人 熊谷の環境を考える連絡協議会

20A-04

代表者：会長 栗原 堯

URL : <http://kumakanren09.net/index.html>

---

### 1. 活動が必要とされた状況

地球温暖化対策が強く求められているなかで、私たちに何ができるかを考えたとき、特に家庭部門では取り組みやすさもあって、みどりのカーテン事業が取り上げられました。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- ・実施時期：＜4月～10月＞準備は春から始まっているが、実質的には5月のエコライフフェアから報告書をまとめる10月まで。
- ・参加人数：約400人、エコライフフェア、出前講座、CO<sub>2</sub>削減推計作業  
多くの方は、これを機会にゴーヤ苗を個人的に買い増しして10株位で対応。
- ・活動内容：みどりのカーテン用ゴーヤ苗の発注1,000本（発注先：埼玉県農林公社）  
5月20日エコライフフェア会場に搬入、袋詰め作業と配布、同時に渡した節電・省エネアンケートを活用し各個人がいかに対応すべきかを考えてもらった。  
また、星宮公民館、上石公民館、成田公民館では出前講座として、みどりのカーテンの作り方などについて学習していただき苗も配布した。8月にはモニターとして6件協力をいただいた（明細別紙）。各件、1週間ほど温度ロガーを設置していただき、カーテンの有無による温度差からCO<sub>2</sub>削減量を推計した。結果は広報紙等で広報した。

### 3. 活動の成果

- イ. エコライフフェア時の参加状況はゴーヤ苗の無償配布もあり、2日間で525人、相談員のべ32.5人、CO<sub>2</sub>削減量28,182kg/年（チェックシートによるアンケート結果）
- ロ. 星宮公民館等（ほか2公民館）では、参加者52人、相談員18人、  
CO<sub>2</sub>削減量 9,702 kg/年
- ハ. みどりのカーテン事業で、温度ロガーを活用した  
CO<sub>2</sub>削減量 11.0 ton-CO<sub>2</sub>/年(7, 8, 9月)。



### 4. 今後に残された課題

- ・このところ、みどりのカーテン事業参加者が伸び悩んでいるようなので、当会として関係者による事前打合せ等を開いて相談をして進めていく予定である。